

こうちょうじんじゃ
⑦ 甲条神社

創建は不詳。大日靈尊(天照大神)、大己貴命、素戔鳴命を祀っている。境内には甲条城の守護として旧城内に祀られたといわれる聖観音菩薩の御堂がある。

たかえおいまつじんじゃ
⑧ 高樋老松神社

創建は安元2年(1176)。江戸時代に久留米藩有馬家より厚く信仰された。かつては盛大な御神幸が行なわれていた名残として「御輿休」の跡が残っている。

たちあらいがわ
⑨ 大刀洗川

南朝正平14年・北朝延文4年(1359)、南北朝の内乱の最中、南朝の将・菊池武光がその血刀を洗ったと伝わる川。大刀洗の町名の由来にもなっている。

ほんごうみち
⑩ 本郷道

戦国末に開基した本郷宿と、延宝年間(1673-1681)に開基した松崎宿を結ぶ道。今でもどこか面影がある。

きたかまえぐち
⑪ 北構口

松崎宿の出入りに築かれた石垣。17世紀後半の宿場町成立に合わせて築造されたと考えられる。小郡市指定文化財。

まつざきしゆくはたごあぶらや
⑫ 松崎宿旅籠油屋

江戸時代後期に建てられたと考えられる建物で、当時北部九州でも大型の旅籠建築であったと考えられている。小郡市指定文化財。



甲条神社(左写真)
台地の端から集落を見守っている。

御輿休の跡(右写真)



松崎宿北構口(左写真)
久留米藩国境の宿場町松崎は構口という石垣で厳重に警備されていた。

☆地域文化観光実行委員会とは？

平成27年4月1日に発足した、小郡市・大刀洗町の文化遺産を調査・研究し、その普及啓発や、それらを活用した観光の推進を図ることを目的とした団体です。



大刀洗・小郡 地域文化観光実行委員会
問合せ先 実行委員会事務局 〇九四二一八〇一一九三〇
大刀洗町役場(観光) 〇九四二一七七〇一七三

大刀洗・小郡 散策案内手帖

故郷を歩くー本郷ー甲条ー松崎宿ー

ほんごうこうらたまたれじんじゃ
① 本郷高良玉垂神社

創建は建久元年(1190)。武内大臣、八幡神、住吉神を祀っている。当初は三原城内に祀られており、延元3年(1338)に現在地へ遷された。

さいこうじ
② 西光寺

永正3年(1506)、三原氏の菩提寺として建立された。本尊は寄木造の阿弥陀坐像、脇侍は一木造の勢至・観音両菩薩像。平安末から南北朝時代の作とされる。県指定文化財。

みはらじょうし
③ 三原城址

建久元年(1190)、三原家13代当主・種朝が入った城。延元元年(1336)、南北朝の内乱の折には菊池武敏が10日余り籠城したという。

ひぐちしょうゆ
④ 樋口醤油

4代続く老舗の醤油屋。本郷は昔から醸造産業が盛んであり、最盛期には樋口醤油を含め6軒の醸造屋(酒屋、焼酎屋など)があった。

じょうれんじ
⑤ 浄蓮寺

天文元年(1532)、甲条城主・広瀬主税助則国が世の無常を感じて仏門に入り、建立したと伝えられる。

こうちやうがのみたまじんじゃ
⑥ 甲条倉稻魂神社

創建は天正18年(1590)、庄屋・渡辺十右衛門の勧請といわれる。久留米4代藩主・有馬頼元が眼病の際に祈願したところ完治したと伝わっている。

高良玉垂神社の楼門(右写真)
文化4年(1807)に再建されたと言われている。



倉稻魂神社(右写真)
4つの大明神が祀られている。



西光寺(左写真)
境内に種姫地藏尊のお堂がある。

